

## 国連 WHO 「障害に関する世界レポート」 記念発表会出席報告

新潟医療福祉大学 名誉教授・大鍋寿一  
ピッツバーグ大学 客員教授

### 【背景】

2011年6月9日、国連で開催された「障害に関する世界レポート」<sup>1)</sup>の記念発表会(Launch of the World report on disability)<sup>2)</sup>に著者もピッツバーグ大学健康リハビリテーション学部のブルベーカー学部長(Dean & Dr. Cliff Brubaker)、シールマン教授(Prof. & Dr. Katherine D. Seelman)と共に参加の機会を得たので報告する。このレポートは世界保健機関(WHO)と世界銀行の共同でニューヨーク国連本部で発表された。3年前同じ場所で国連「障害者権利条約」が発効され、それは各国が何をすべきか、指針を示している。日本もこの条約に署名している。この「世界レポート」は、この約束をどのようにするべきか、助言を提供している。その約束の中には国民の主流に障害者をいかに組み込むかも含まれている。

### 【会議の様子】

「障害に関する世界レポート」は、世界380名以上の専門家により3年間かけて作成された。会議は2つからなっており、第1は全体会議、第2はハイレベル専門家会議であった。

2011年6月9日、国連で開催された「障害に関する世界レポート」の記念発表会(Launch of the World report on disability)では、第1の全体会議で、WHO事務局長マーガレット・チャン(Margaret Chan)博士の『障害に関する世界報告書』発表に関する声明ではじまった。「障害に関する世界レポート」を通してWHOは、「障害者権利条約」の責任を果たしていくと声明した。

また、著名なスティーヴン・ホーキング(Stephen Hawking)教授はレポートを歓迎し、「障害のある人々の社会生活へのインクルージョンにとって、今世紀が記念すべき転換点となることが私の希望です」とビデオを通して語った。

第2の専門家会議では次のレポートの各章について説明。

### 【障害に関する世界レポート】

世界の障害者10億人、世界人口の15%、という数字がこのレポートで公表された。

「世界レポート」は次の各章からなっており、1. 障害の理解、2. 障害、3. 一般的健康管理、4. リハビリテーション、5. 支援、6. 支援環境強化、7. 教育、8. 仕事と雇用、9. リコメンデーションからなっている。これらの内、第9章の9つのリコメンデーションを記述する。

1. 障害者は、健全者と同じサービスを利用できるか。
2. 障害者の自立支援：障害者に次のものの提供
  - ・車椅子または補聴器などの機器・トレーニング・介護者
3. 障害者に対する国家計画を持つ。

4. 法律やサービス計画を決める時に障害者を含める。
5. 人々が障害についてよりよく理解するようにする。
6. 障害者が不利にならないでより質の良いサービスを受けられるようにする。
7. 市民の障害に対する理解の向上を支援する。
8. 障害についてより良い情報を収集する。
9. 障害の調査研究を充実する。

「世界レポート」をこれからどのように使用して行くかを図1に示す。国家障害戦略と行動計画の導入を提言している。

なお、日本人の出席は確認できたのは、JICAから中村信太郎氏および世界銀行から若松英治氏と著者の3名であった。中村氏はJICAの組織・活動について専門家会議で説明した。

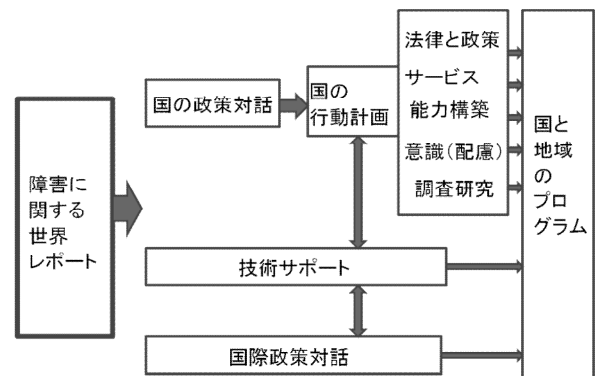


図1. 「障害に関する世界レポート」からどこへ

### 【考察】

「世界レポート」は、「障害者権利条約」をどのようにすべきか、助言している重要な資料である。しかし1991年に制定された「国連・高齢者配慮原則」(United Nations Principles for Older Persons)に、さらに高齢者の権利擁護(Advocacy)との関係には直接触れられていない。

### 【結論】

「障害に関する世界レポート」はこのあと各国で展開されるが、米国の「障害に関する世界レポート」の記念発表会は2011年9月12,13日に行なわれる。日本も行うべきであり、超高齢社会の日本にはこの「世界レポート」の提言に「国連・高齢者配慮原則」、東日本大震災をも考慮したジャパン・モデルを世界へ示し、提言に答えて行くことが望まれる。「空飛ぶ車いす」活動についても入れるのが望ましい。

### 【謝辞】

国連での「世界レポート」の記念発表会出席への労を取っていただいたピッツバーグ大学のシールマン教授(Prof. Dr. Seelman)に感謝する。本研究の一部は福岡清氏((株)フクシン代表取締役社長)研究奨励金制度によった。

### 【文献】

- 1) WHO, World Report on Disability, WHO & World Bank, 2011, 6, 9. (Summaryあり)
- 2) [http://www.who.int/disabilities/world\\_report/2011/en/index.html](http://www.who.int/disabilities/world_report/2011/en/index.html) (WHOのウェブサイト)